

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	三連梯子操法訓練中における指詰め事例
3. 体験した事例の中心的要素	新規採用消防士の三連梯子操法訓練時、ポンプ車上部に積載された三連梯子を搬出しようとして、梯子を積載レールの上で滑らし引き出す際、左小指を動き出した梯子本体横さんとの間で挟んでしまった。訓練時で比較的ゆっくりと動作していたので軽症で済んだが、時間的にゆとりがなければ、骨折等の事故になったかもしれない。
4. 体験した事例の原因・理由	新規採用者に対しての訓練において、訓練指導者による資器材の取扱い注意が不十分であった。それに加え、訓練実施時の訓練指導者と安全管理者の連携がされていなかった。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 21 年 6 月 27 日 午後 5 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：三連梯子訓練時、左小指を挟みました。
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	
7. 事例体験時の活動	演習訓練 [火災、]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	器具操作訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[25]歳、勤続年数[0]年、現場経験年数[0]年、階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[38]歳、勤続年数[18]年、現場経験年数[18]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者Aが	三連梯子搬出時、左手小指を挟んだ。	
経過2			
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力がなかった。指揮者が適切に指示しなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

訓練開始をする前に、資器材の取扱いの注意事項を徹底する。そして、訓練実施時には安全管理者をつける。

○装備・資機材の対策について

当事者が新規採用者だったため、資器材の使用方法を熟知しておらず、また、安全管理等も不十分な点があったと思われる。今後は、色テープ等により危険箇所の明示をし、訓練を通して安全管理にも重点をを置くように心がける。

○活動環境の対策について

別に無し。

○指揮・情報伝達の対策について

別に無し。

図 面

引き出す際、梯子の横さんと固定ステイとの間に手指を挟んでしまった。

